

令和6年度 別府教育事務所 重点方針

子どもの力と意欲の向上に向けた組織的取組の推進

「みんなでやる、みんなでのびる、みんなで喜び合う」取組の充実

(「みんな」= 学校・家庭・地域)

【授業改善の徹底】 「わかる」「できる」授業の実現

- ◇新大分スタンダードを踏まえた授業の実施
- ◇「ねらい」と「評価規準」の連動
- ◇個の実態を踏まえた具体的な手立ての工夫
- ◇1人1台端末等の効果的な活用



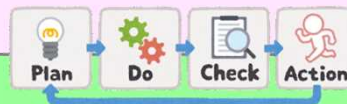
【体力向上の推進・健康課題への対応】

体力・生活習慣の課題に 対応した取組の充実

- ◇「体力向上プラン」「1校1実践」等の短期検証・改善
- ◇家庭・地域等と連携した健康課題への対応
(メディア・肥満・むし歯等)

学校マネジメントの深化

- ◇みんなで取り組み、成果を実感し合うツールとしての「学校評価の4点セット整理票」の活用
- ◇当事者意識のもと推進する目標協働達成



【いじめ・不登校対策等の推進】

児童生徒の 「居場所づくり」「絆づくり」

- ◇支援を必要とする児童生徒の困りやつまずきの把握
- ◇人間関係づくりプログラム等を通じた日常生活での児童生徒同士の対話やつながりの醸成
- ◇ICT 機器等を活用した学ぶ機会等の確保
- ◇絶え間ない支援につなぐ「個別の指導計画」等の共有・引継及び学年・校種間連携

【働き方改革の推進】

児童生徒と向き合う時間の確保

- ◇当事者意識の醸成を重視した組織的な勤務実態の改善
- ◇校務の効率化に向けた校務支援システム等の活用

【教職員の資質向上】

キャリアステージに応じた人材育成

- ◇組織的な体制づくり・取組の実施
- ◇教科や学年の壁を越えた日常的な関わり合い